

清友

No. 82

2016年6月



小石川後樂園・菖蒲田

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

第9回退職者会総会



参院選勝利！政治の変革と
更なる組織拡大を目指そう

役員選改

会長に庄司さん、副会長に丹野さん、事務局長に戸枝さん、幹事に岡沢さん、押田さん

5月27日、清掃会館で第9回定期総会を開催しました。参加会員は32名、委任状提出32名でした。

戸張副会長の司会で開会、昨年の総会以降亡くなった石川幸男さん、宮三郎さんの冥福を祈り黙祷しました。総会議長に吉田雅明さんを選出。堀田会長は東京清掃と退職者会の歴史に触れ「会員の

のよりどころになる退職者をめざしてほしい。」と、後任に託す挨

拶をいたしました。

来賓として東京清掃坂本副委員長より「退職者会の各種行動参加に感謝申し上げます。まさに退職者会あつての東京清掃だ。昨年10月に本部体制が変わって専従5名体制になり、東京清掃の組織力を高める努力をしている。今後とも頑張りますよ。」と、激励の挨拶をいただきました。



東京清掃
坂本副委員長

司会：戸張副会長

庄司事務局長

総会議長
吉田雅明さん

江崎参議院議員

戸枝会計

自治退都本部
本郷会長

堀田会長

山岸会計監査

都庁退連合
岡田会長

活動方針提案
柳副会長

の江崎孝参議院議員が「メーデーや狭山集会でも顔を合わせた方もいらっしやる。福岡出身で、自治労役員を経て参議院議員になった。何でもやりたい放題の安倍首相と対決し、労働者、退職者、国民の生活を守り抜くためこれからは頑張りたい。7月の参院選は同時選挙の可能性も残っている。温かいご支援をお願いしたい。」と挨拶しました。本郷自治体退職者会都本部会長は「各組織が組織拡大に向け努力しているが、



13名の幹事が一丸となって退職者会運動の強化に邁進していきます。

清掃の努力には敬意を表したい。退職者、高齢者の声を大きく突き出すには、会員を増やすしかない。選挙で安倍政権にブレーキをかけたい。」岡田東京都庁職員退職者連合会会長は「雇用が増えたというが非正規が増えただけで、正規労働者は減っている。参院選を頑張って安倍を追い詰めることが必要だ。一人でも多くの仲間を増やすため頑張りたい。」と、力強い挨拶をいただきました。

議事に入り、昨年の経過報告、会計決算報告、会計監査報告を承認し、議案の活

動方針案、10周年記念事業、旅費支給基準改正案と会計予算案を審議しました。質疑では古川さんから「安保法制廃止等の闘いに引き続き頑張りたい。」との意見があり、この意見を含め、今後の運動を強化していくことを確認しました。

新会員を紹介したのち、総会スローガンを確認し、新旧役員から挨拶を受けました。退任したのは、堀田会長と植草幹事です。退職者会の強化へ向けて奮闘いただいたことに感謝申し上げます。新しい役員は、会長に庄司さん、副会長に元副会長の丹野さん、

新役員

- 会長 庄司 隆男 (新)
- 副会長 丹野 富士雄 (新)
- 副会長 戸張 壽雄 (再)
- 副会長 柳 章 (再)
- 事務局長兼会計 戸枝 章 (新)
- 会計監査 岩淵 勝美 (再)
- 会計監査 山岸 治美 (再)
- 幹事 古口 寿一 (再)
- 幹事 馬鳥 宣明 (再)
- 幹事 渡辺 正勝 (再)
- 幹事 吉田 清 (再)
- 幹事 岡沢 徹 (新)
- 幹事 押田 五郎 (新)
- 顧問 北條 信治 (元会長)
- 顧問 堀田 義博 (前会長)



事務局長兼会計に戸枝さん、幹事に岡沢さんと押田さんです。最後に庄司新会長の音頭で「運動強化と組織拡大」へ向けた決意を込めて団結ガンバローを三唱、第9回定期総会を終了しました。

総会に続く恒例の懇親会は、今年も大いに盛り上がりました。なお、総会の場で行った熊本地震被災者支援カンパは、21,700円でした。東京清掃を通じ被災地へ送ります。ご協力ありがとうございました。

昭和運輸不当解雇撤回闘争

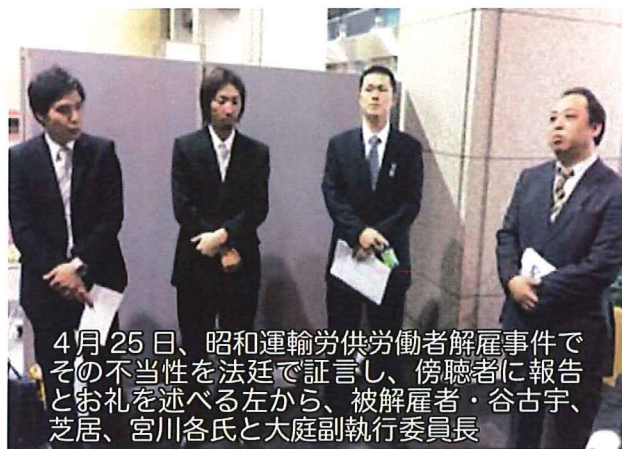
支援共闘会議は「職場復帰を求め」原告の闘いの支援を強化

東京地裁で昭和運輸不当解雇事件の被告・会社側（4月18日）と原告3名（4月25日）の口頭言論が行われ、原告3名は「昭和運輸の社員として戻りたい」と訴えました。

その後、5月10日、証人尋問後初の弁論準備がもたれ、被解雇者3名の残業代未払い問題の和解が成立しました。

解雇事件そのものについても原告と被告の双方に裁判官から和解の打診があり、6月13日の弁論準備では双方の考え方を示すことになっています。

この裁判闘争と並行して労働者厚生の厚生年金未加入問題を追及し、すでに昭和運輸で働く労働者43名全員が労組の別なく加入資格を認められました。これに関連し朝日新聞は、5月30日に「厚生年金逃れ国想定上回る」厚労省推計「未加入200万人」建設作業員・ごみ収集員対象外



4月25日、昭和運輸労働者解雇事件でその不当性を法廷で証言し、傍聴者にお礼を述べる左から、被解雇者・谷古宇、芝居、宮川各氏と大庭副執行委員長

「外注偽装・日雇い：年金逃れ」と、厚労省が「下請清掃51社は調査対象から漏れていることを認めた」と、報道しました。昭和運輸の労働者厚生年金加入資格が50社に広がるかどうか問われています。

裁判闘争はいよいよ大詰めです。支援共闘会議は、「職場復帰を求める」原告の闘いの支援する固い決意です。（宮本）

参院選後悪法目白押しか？

第190国会は6月1日に閉会しました。7月の参議院選で反感を買う恐れのある法案は提案見送りか次期へ持ち越しされました。社会福祉と労働関連の法案の主なものは次のようになっています。参院選後、社会保障の改悪案が一気に出る可能性があります。

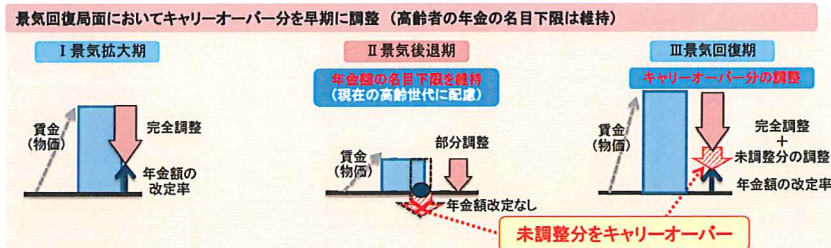
労働基準法（継続審議）

「多様で柔軟な働き方」の名目で「年収一定以上の高度専門業務従事者」に「手当なし残業合法化」提案。過労死促進法だと連合、全労連、全労協は共同で反対。参院選後確実に再浮上。

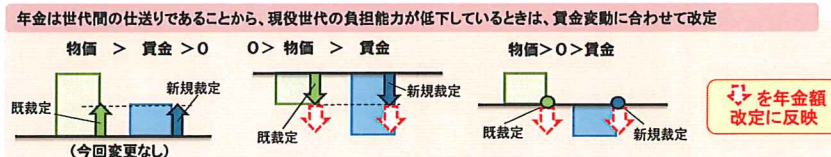
年金法（継続審議）

一括法案。①500人以下の企業に条件付き被用者保険適用拡大、②国民年金第一号被保険者の産前産後保険料免除、③年金額改定ルールの見直し、④年金積立金管理運用組織の見直しなど。年金額改定ルール見直し

〇経済スライドによる調整ルールの見直し



〇年金額改定物価スライドの見直し



強力な助っ人を得て今年こそ 狭山事件の再審を求める市民集会

石川一雄さんが不当逮捕されてから53年、5月24日、「不当逮捕53年糾弾！狭山事件の再審を求める市民集会」が日比谷公園で開かれました。

弁護士 弁護団に憲法学者で弁護士の小林節さんと、元日弁連会長の宇都宮健児さんが参加することになり、小林節さんがアピール。先天性の障害で差



別に苦しんだことを紹介し、「告白を裏付ける証拠がないだけでも憲法違反。無実の石川さんを救えなかつたら憲法なんて嘘っぱちだ。」と断言、力強いアピールでした。

石川早智子さんが大好きな歌「明日あると信じて来たる屋上に 旗となるまで立ちつくすべし」の作者、歌人の道浦母都子さんも登壇。冤罪被害者の足利事件菅家さん、布川事件桜井さん、袴田事件の袴田巖さんのお姉さんらが連帯アピール。支援の輪は確実に広がっています。



5月29～30日、箱根で東京清掃の第53年次自治研集会が開催され、戸枝事務局長が参加しました。「良質な公共サービスとしての清掃事業の確立」を求めて、昨年はDVDの作成や市民集会が取組まれ、今年は5月を期限に、各区自治研集会の開催が波及されました。小グループ討論では、何から手を着けていいか判らず苦労したことなど、各区の実態を反映したりアルな話しの中から、「区民にとつてなくてはならない存在」になることを目指そうという共通認識が深まりました。来年へ向けて期待。



毎月19日の戦争法廃止へ向けた5月の定例行動「戦争法発動させない！参議院選挙野党勝利！安倍内閣は退陣を！5・19議員会館前行動」に約5千名が集まりました。この日の集会でも指摘されたように、安倍首相は国会で再三自らを「立法府の長」と表現しています。三権分立の原則すら知らないというより、「首相は立法府に国会を支配する権限がある」という意識に基づくものでしょう。安倍をこのまま許しておくことはできません。6月はさらに大きな行動が組まれます。頑張りましょう。